

第2回南九州水産海洋研究集会・気候講演会  
「南九州周辺の海にみられる地球温暖化の兆し」

共催：水産海洋学会，鹿児島地方气象台，福岡管区气象台，鹿児島県水産技術開発センター，  
宮崎県水産試験場，鹿児島大学水産学部

後援：鹿児島市，NHK鹿児島放送局，MBC南日本放送，KTS鹿児島テレビ，KKB鹿児島放送，  
KYT鹿児島読売テレビ，南日本新聞社

日時：2014年9月10日（水） 13：00～17：30

場所：鹿児島大学稲盛会館（鹿児島市郡元1-21-24）

コンビナー：宍道 弘敏（鹿児島水技セ），渡慶次 力（宮崎水試），  
藤本 敏文（福岡管区气象台），中村 啓彦（鹿大水）

挨拶：和田 時夫（水産海洋学会長） 13：00～13：05  
山里 平（鹿児島地方气象台長） 13：05～13：10  
趣旨説明：宍道 弘敏（鹿児島水技セ） 13：10～13：15

第1部【基調講演】

司会：中村 啓彦（鹿大水）

世界規模で起きている海の温暖化～IPCC第5次評価報告書から～  
高槻 靖（気象庁）

13：15～14：00

（休憩）

14：00～14：10

我が国周辺海域における水温上昇と漁海況の変化

渡邊 朝生（中央水研）

14：10～14：55

（休憩）

14：55～15：10

第2部【話題提供】

司会：渡邊 朝生（中央水研）

1. 地球温暖化に関連する南九州各県海域の情報

(1) 熊本県海域における情報

中尾 和浩（熊本水研セ）

15：10～15：30

(2) 鹿児島県海域における情報

富安 正蔵（鹿児島水技セ）

15：30～15：50

(3) 九州東方海域における情報

渡慶次 力（宮崎水試）・

安部 洋平（大分水研）・橋田 大輔（愛媛水研セ）

15：50～16：10

（休憩）

16：10～16：20

司会：宍道 弘敏（鹿児島水技セ）

2. 漁業者の肌感覚

(1) 定置網漁獲物にみられる南方系魚類 伊東 正英（笠沙町漁協）

16：20～16：40

(2) 潜水器漁業者がみた鹿児島湾沿岸部の変化

山口 太吾・山口 東洋一（鹿児島市漁協）

16：40～17：00

第3部【総合討論】司会：渡慶次 力（宮崎水試）藤本 敏文（福岡管区气象台） 17：00～17：30

開催趣旨：2013年8月，北海道道東海域におけるクロマグロの豊漁は，海水温の上昇に関連付けて報道された．南九州地域においても同様の報道が散見されるようになり，近年の海水温上昇と資源変動に対する漁業者の関心は高い．また，地球温暖化に関する最新の知見を取りまとめたIPCC第5次評価報告書が2013年から2014年にかけて公表され，人々の関心は高まっている．温帯と亜寒帯の境界に位置する北海道同様，温帯と亜熱帯の境界に位置する南九州地域では，海水温の変化が魚種組成のダイナミックな変化を引き起こす可能性が高いと考えられる．本シンポジウムは，南九州水産海洋研究集会と気候講演会を合同で開催し，研究・行政・漁業関係者及び一般の方に幅広く参加を呼び掛け，当地域における地球温暖化と水産資源の関係について立場や関連する学問の枠を超えて幅広く議論すると共に，参加者間で知識や問題点を共有し，今後想定される変化や対応策等の方向性を展望する．